

伊勢原市シルバー人材センター 基盤強化計画



公益社団法人伊勢原市シルバー人材センター
平成30年2月策定

目 次

第1	計画策定の目的	P 1	
第2	本計画の位置づけと掲載する取組	P 1	
第3	計画期間	P 1	
第4	目標数値	P 1	
	1. 会員数	P 1	
	2. 粗入会率	P 1	
	3. 就業率	P 1	
	4. 契約金額	P 1	
第5	計画の進行管理	P 1	
第6	行動計画	P 2	
	1. 会員の増強	P 2	
	2. 就業開拓の強化	P 4	
	3. 就業の公平化・適正化	P 6	
	4. 安全就業の徹底	P 9	
	5. 組織体制の強化	P10	
	6. 財政基盤の安定	P11	
	7. 会員の交流・親睦活動の活性化	P12	
§ 主な新規事業のイメージ			
	その1：刃物研ぎ出前出店事業	P13	
	その2：空き家等見回り事業	P14	
	その3：(仮称)シルバー農園運営事業	P15	
《参考》他市区町村シルバー人材センターの独自事業例			P16

伊勢原市シルバー人材センター基盤強化計画

第1 計画策定の目的

本計画の策定は、座して待つのではなく積極的な行動により、伊勢原市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の更なる活性化を図り、もって“地域に役立つ、活力と魅力あるセンター”の実現を目指すことを目的としています。

第2 本計画の位置づけと掲載する取組

本計画は、平成28年5月に策定した「伊勢原市シルバー人材センター第2次中期基本計画」（計画期間：平成28～32年度）に掲げた目標数値を達成するため、計画期間中に実施する具体的な取組を示すものです。

第3 計画期間

平成32年度までを計画期間とします。

第4 目標数値

1. 会員数 1,000人
2. 粗入会率 3.5%（60歳以上人口に占める会員の割合）
3. 就業率 80%以上
4. 契約金額 315,000千円

▽過去実績

項目	実績					目標値
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H32年度
会員数(人)	984	1,012	982	874	833	1,000
粗入会率(%)	3.4	3.5	3.3	2.9	2.7	3.5
就業率(%)	69.3	65.0	67.3	75.3	76.4	80.0
契約金額(千円)	311,094	293,227	282,526	300,578	305,010	315,000

第5 計画の進行管理

本計画に計上した取組について、実施状況を点検するとともに、費用対効果やその有効性の検証を行うこととします。

また、センターの活性化に結び付く本計画に計上していない取組についても、順次実施することとします。



第6 行動計画

1. 会員の増強

(1) 現状と課題

ア 減少傾向にある会員数

会員数は、平成9年度のセンター設立以降増加を続けていたものの、25年度末の1,012人をピークに減少傾向に転じ、28年度末現在の会員数は833人となっています。

今後、受注件数を伸ばし、発注者からのオーダーに迅速かつ的確に responding していくためには、既存会員の定着はもとより、会員の増強を図る必要があります。

イ 会員の高齢化

平成24年度から28年度における会員数を年齢区分別で見ると、60~64歳と65~69歳の会員数が減少傾向にある一方で、75歳以上の会員数は増加傾向にあり、会員の高齢化が進んでいます。

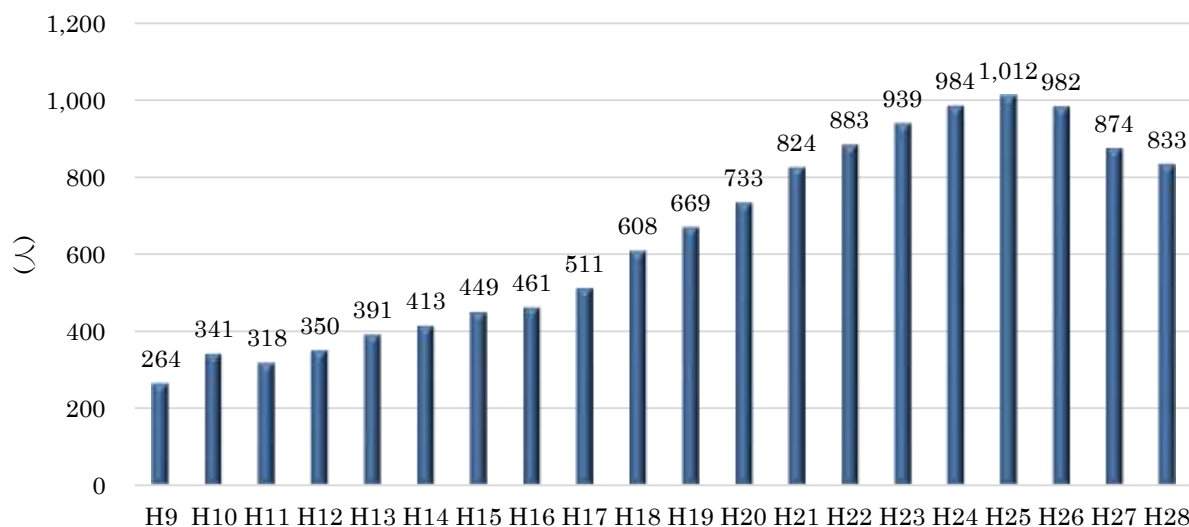
発注者からのオーダーに対応していくため、会員の増強に加え、講習会等の開催や会員間での技能・技術の伝承により、後継者育成を進める必要があります。

ウ 低迷する女性会員数

ここ数年、会員数が減少傾向にある中、女性会員も減りつつあります。また、女性会員の構成比率は、全国平均に比べると低い状況となっています。

少子高齢化が進み、日常生活や子育てを手助けする仕事が増えてくるものと予想されることから、女性会員を増強し、受注体制を整える必要があります。

会員数の推移



(2) 基本計画

- ▶ 働く意欲が高く、有能な人材の受け入れを促進します。
- ▶ 就業開拓委員会と連携し、女性に適した就業の拡充・開拓を進め、会報や口コミ等を通じて女性会員の加入促進を図ります。
- ▶ ワークシェアリングやローテーション就業を徹底し、未就業会員の対策強化を行い、退会の抑制を図ります。

(3) 実施計画

No.	取組名	内容
1	㊦入会説明会の見直し	入会希望者が入会したいと思うような説明内容への転換
2	㊦ネット入会受付システムの導入	インターネットを活用した入会受付システムの導入
3	㊦入会手続の迅速化	新規入会者の入会手続の迅速化を図り、早期就業を実現するための定款見直し
4	㊦「一人一会員入会運動」の展開	会員一人が新入会員一人を獲得する運動の展開
5	㊦ハローワークとの連携	ハローワークとの連携によるセンターPRや新入会員の勧誘
6	㊦未就業会員への積極的アプローチ	会員皆就業を目指す未就業会員への積極的な声掛けや就業調整など
7	㊦(仮称)「ゴールド会員制度」の検討・導入	加齢等により会員相互交流のみ希望する会員を対象とする(仮称)「ゴールド会員制度」の検討・導入
8	㊦会報「シルバーいせはら」によるPR強化	センター活動を掲載する会報「シルバーいせはら」の年4回の発行(うち1回は全戸配付)によるセンターPRと会員の連帯意識の高揚
9	入会説明会・接遇講習会の開催	新規入会を検討・希望する方のための入会説明会(毎月第3水曜日)及び接遇講習会(四半期に1回)の開催
10	多様な媒体を活用したセンターPR	会報シルバー、ホームページ、市広報紙、タウン誌、新聞、ポスター、チラシ等によるセンター事業や会員募集などの積極的な情報発信
11	会員情報の適宜更新・把握	発注と就業との迅速なマッチングを図るための会員の就業希望業種や時間帯等に関する情報の適宜更新とその把握
12	ホームページの充実	センターホームページのデザイン見直し及び閲覧者がセンター情報を容易に入手でき、発注者のオーダーに結び付けるような掲載内容の充実
13	技能・技術後継者の育成	技能・技術を要する作業に従事できる会員の拡大に向けた講習会等(新規入会を促進するための一般市民も対象とするものを含む)の開催及び会員間の伝承による後継者の育成
14	地域イベントへの積極的な参加とボランティア活動の推進	積極的な地域イベントへの参加やボランティア活動による地域貢献及びそれらを通じた会員の連帯強化とセンターPR
15	ワークシェアリングの推進	適正就業の徹底とより多くの会員の就業を目指すローテーション就業等によるワークシェアリングの推進

2. 就業開拓の強化

(1) 現状と課題

ア 契約金額の推移

平成 24 年度から 28 年度における契約額をみると、24 年度の 311,094 千円をピークに 3 億円前後で推移し、28 年度は 305,010 千円となっています。

契約金額の更なる増加を図り、センターを活性化していくためには、新たな発注者・就業先の獲得が必要です。

イ 民間需要（受注）への期待

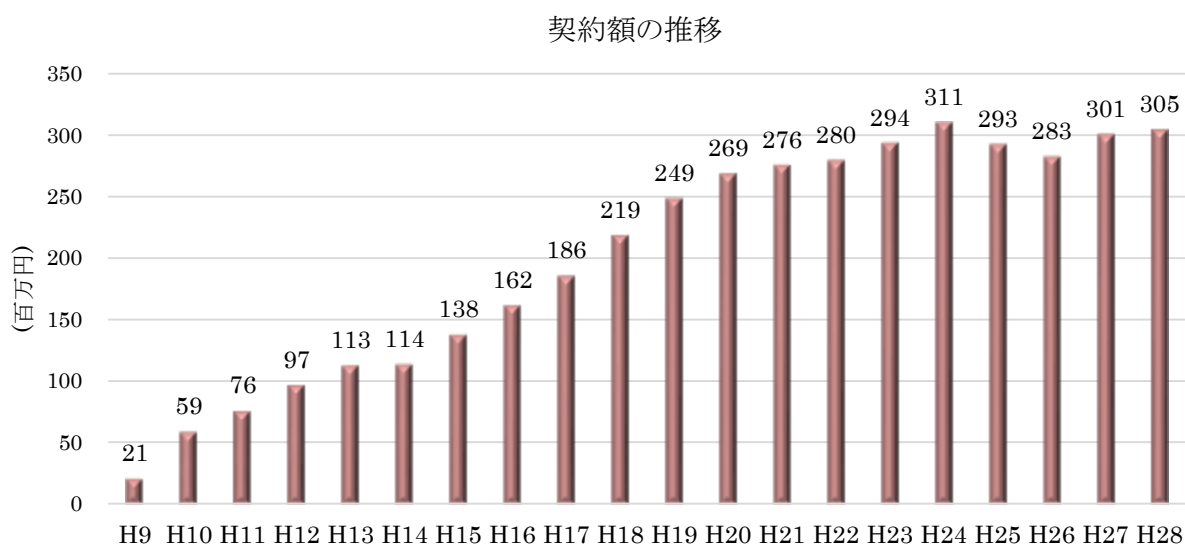
企業では、正社員の雇用を抑制し臨時的雇用社員の採用が進んでいることから、センターは、企業が注目する選択肢の一つとなることが予想されます。

そうした中、センター事業の周知や就業開拓を積極的に行う必要があります。一方で、発注者の期待に応えるため、会員の更なるスキルアップはもとより、仕上がりにも妥協を許さない姿勢と自らの仕事への振り返りが求められます。

ウ 少子高齢化の進展

高齢化の進展に伴う自力では困難な身の回りの作業を第三者に依頼する傾向の高まりや、女性の社会進出に伴う地域での子育て支援のニーズ拡大等により、安心感を伴うセンターへの依頼が増えるものと予想されます。

そうした状況を想定し、就業拡大に向けた積極的な行動とともに、センター側の受入態勢を整える必要があります。



(2) 基本計画

- 就業開拓委員会を中心に企業や事業所の新規受注拡大を図るほか、就業においてもニーズに応えられるよう日々啓発に努めるなど、就業開拓に努めます。
- 受注分野の実績等の分析を行い、需要が見込まれる作業の強化を行います。
- 会員全員にご近所や友人知人にセンターを紹介してもらい、口コミによる受注拡大を図ります。
- 主に企業や事業所に対しシルバー派遣事業のPRを行い、派遣による就業拡大を図ります。

- ▶ 直接雇用を希望する会員や求職者のニーズに応えられるよう有料職業紹介事業を実施します。
- ▶ 地域支援事業としての総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施を見込み、市や関係機関と緊密な連携を図り、特に女性会員が就業可能な職域の拡大に努めます。

(3) 実施計画

No.	取組名	内容
1	㊦新たな就業場所を創出する事業の検討・実施	刃物研ぎ出前出店事業(P13 参照)、空き家等見回り事業(P14 参照)及び市との協定締結、日常生活手助け事業、福祉・家事援助サービス事業など
2	㊦派遣事業の推進強化	派遣制度の周知及び受注拡大を図るための PR 強化並びに事務局体制の強化
3	㊦ネット受注受付システムの導入	インターネットを活用した受注受付システムの整備
4	㊦「一会員一就業開拓運動」の展開	会員一人が一つの就業先(仕事)を開拓・獲得する運動の展開
5	㊦新規独自事業の開発及び現行事業の充実	会員の就業機会の拡大に結び付く(仮称)シルバー農園(P15 参照)など新たな独自事業の開発及び現在行っているリサイクル家具販売事業の充実
6	㊦業務報告書への発注者評価欄の追加	次の作業従事に生かすことを目的とする業務報告書への発注者評価欄の追加
7	㊦技能班の体制強化	植木班、除草班、リサイクル班の構成員の増強及び各班内におけるグループ化並びに発注に迅速かつ的確に対応するための新たな技能集団の結成
8	職業紹介事業の推進	臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の雇用による就業を希望する会員等に対する適正かつ適切な職業紹介
9	各種団体の会議へ出向いてのセンターPR	自治会、医師会会合、老人クラブ、企業で構成する団体などの会議に出向いてのセンターPR
10	企業訪問による就業開拓	就業開拓委員会を中心とする企業や事業所訪問による新規就業先の開拓
11	会員の質的向上	継続受注や受注拡大に結び付けるため、既存会員を対象とした技能講習会や接遇講習会等の実施
12	発注者への各種事業情報のダイレクトメール	発注者への請求書郵送に合わせた各種事業に関するお知らせチラシの送付
13	(再掲)㊦会報「シルバーいせはら」による PR 強化	センター活動を掲載する会報「シルバーいせはら」の年4回の発行(うち1回は全戸配付)によるセンターPR と会員の連帯意識の高揚
14	(再掲)多様な媒体を活用したセンターPR	会報シルバー、ホームページ、市広報紙、タウン誌、新聞、ポスター、チラシ等によるセンター事業や会員募集などの積極的な情報発信
15	(再掲)ホームページの充実	センターホームページのデザイン見直し及び閲覧者がセンター情報を容易に入手でき、発注者のオーダーに結び付けるような掲載内容の充実
16	(再掲)地域イベントへの積極的な参加とボランティア活動の推進	積極的な地域イベントへの参加やボランティア活動による地域貢献及びそれらを通じた会員の連帯強化とセンターPR

3. 就業の公平化・適正化

(1) 現状と課題

ア 就業率の向上

会員の就業率をみると、ここ数年上昇傾向にあるものの、平成28年度における就業率は76.4%となっています。より多くの会員に就業していただくため、一つの就業にシフト制を導入するなど、ワークシェアリングを進めています。

既存会員の退会をより少なくし、新規入会の拡大を図るためにも、この就業率を限りなく100%に近づける必要があります。

イ 技能・技術継承者の養成

高齢者人口が増加しつつある中、庭の草取りや植木の剪定、障子の張替えなど、身の回りの生活環境の改善に向けた作業オーダーが増えるものと予想されます。

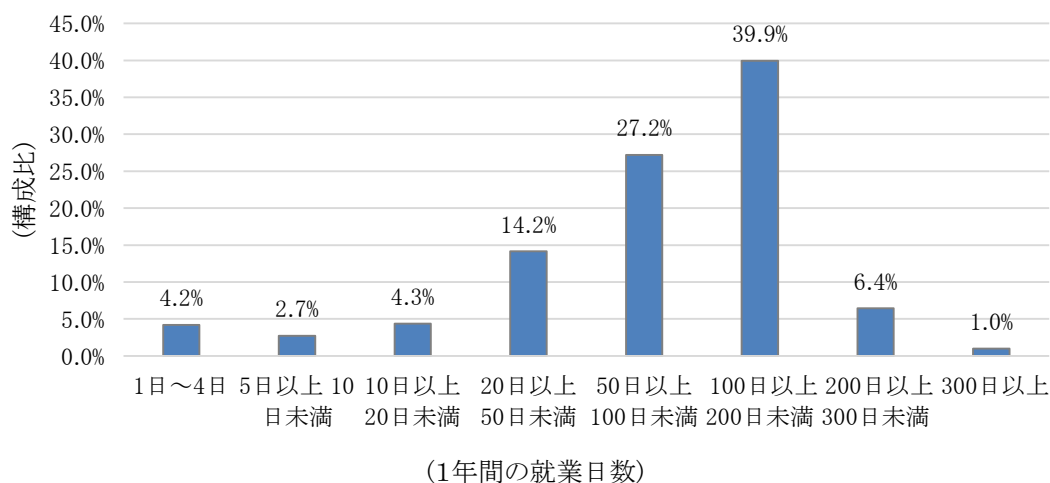
今後、生活に密着した作業オーダーに対応するため、また、会員の就業機会の拡大を図るため、技能・技術を習得した会員を増やし、発注量の増加に適切に対応できる体制・人材づくりが必要です。

▼平成28年度就業日数別・従事会員数

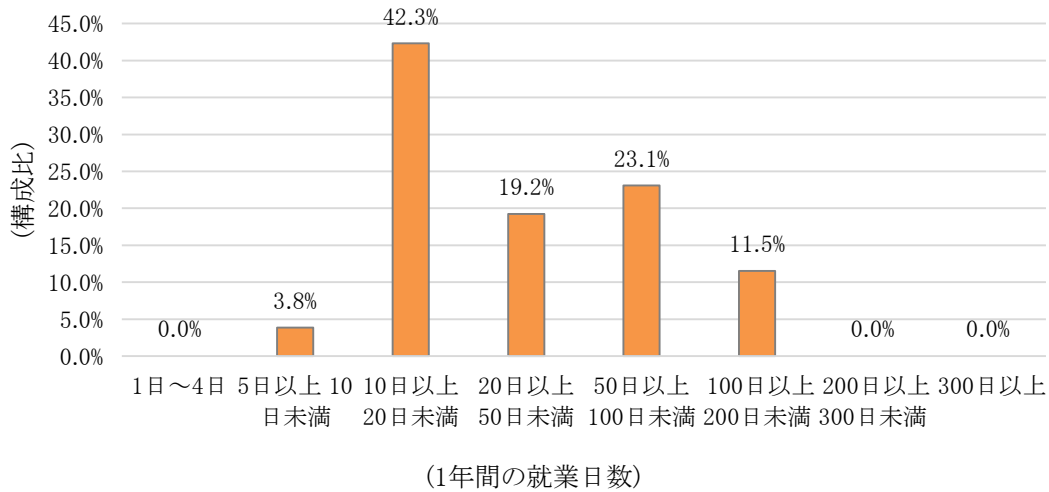
就業日数	請負・委任		派遣		実就業者数 (a)	総会員数 (b)	就業率 (a)/(b)
	従事 会員数	構成比	従事 会員数	構成比			
1日～4日	26	4.2%	0	0.0%			
5日以上 10日未満	17	2.7%	1	3.8%			
10日以上 20日未満	27	4.3%	11	42.3%			
20日以上 50日未満	88	14.2%	5	19.2%			
50日以上 100日未満	169	27.2%	6	23.1%			
100日以上 200日未満	248	39.9%	3	11.5%			
200日以上 300日未満	40	6.4%	0	0.0%			
300日以上	6	1.0%	0	0.0%			
合計	621	100.0%	26	100.0%	636	833	76.4%

(注)「総会員数」は、平成28年度末現在の人数

平成28年度就業日数別・従事会員数(請負)



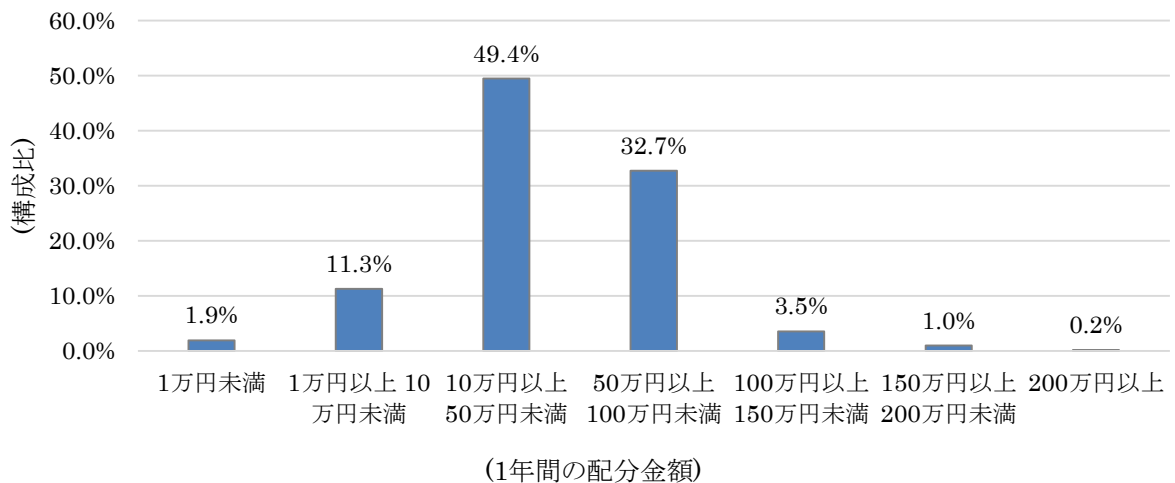
平成28年度就業日数別・従事会員数(派遣)



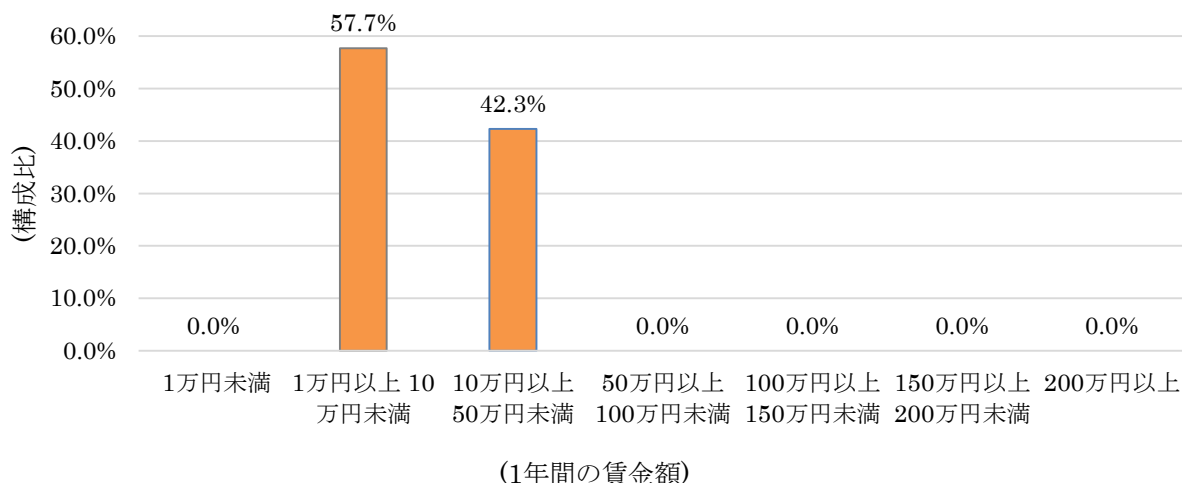
▼平成28年度配分金額別・会員数

配分金額 (注) 派遣は賃金額	請負・委任		派遣	
	会員数	構成比	会員数	構成比
1万円未満	12	1.9%		0.0%
1万円以上 10万円未満	70	11.3%	15	57.7%
10万円以上 50万円未満	307	49.4%	11	42.3%
50万円以上 100万円未満	203	32.7%		0.0%
100万円以上 150万円未満	22	3.5%		0.0%
150万円以上 200万円未満	6	1.0%		0.0%
200万円以上	1	0.2%		0.0%
合計	621	100.0%	26	100.0%

平成28年度配分金額別・会員数(請負)



平成28年度賃金額別・会員数(派遣)



(2) 基本計画

- ▶ ワークシェアリングは軌道に乗ってきましたが、民間関連業務についても更なる適用拡大を図ります。
- ▶ 未就業者アンケートは就業対策の基礎データとして活用するため引き続き実施します。
- ▶ 加齢等の理由により就業は希望せず、会員同士の交流・親睦及びボランティア活動等に参加したいために留まる会員の位置づけについて検討します。

(3) 実施計画

No.	取組名	内容
1	⑧インターネットを活用した求人と就業希望のマッチング	どの会員でも閲覧可能なセンターホームページへの求人情報の掲載をはじめ、求人と就業希望とのマッチングを図るインターネットの活用に関する検討・実施
2	適正就業の推進	地域事業所や会員等への「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の配付並びに臨時的かつ短期的又は軽易な業務の受注と業務内容に応じた請負・派遣契約の締結など
3	求人情報掲示板の有効活用	センター事務局にある掲示板を有効活用した会員へのタイムリーな求人情報の提供
4	ワークシェアリングの推進	適正就業の徹底と会員皆就業を目指すローテーション就業等によるワークシェアリングの推進
5	(再掲)⑧(仮称)「ゴールド会員制度」の検討・導入	加齢等により会員相互交流のみ希望する会員を対象とする(仮称)「ゴールド会員制度」の検討・導入
6	(再掲)⑧未就業会員への積極的アプローチ	会員皆就業を目指す未就業会員への積極的な声掛けや就業調整など
7	(再掲)会員情報の適宜更新・把握	発注と就業との迅速なマッチングを図るための会員の就業希望業種や時間帯等に関する情報の適宜更新とその把握
8	(再掲)地域イベントへの積極的な参加とボランティア活動の推進	積極的な地域イベントへの参加やボランティア活動による地域貢献及びそれらを通じた会員の連帯強化とセンターPR

4. 安全就業の徹底

(1) 現状と課題

ア 事故発生状況

ここ数年の事故発生状況をみると、会員本人の傷害事故の件数は、平成 27 年度 5 件、28 年度 2 件、29 年度(10 月末まで)2 件、また、対物賠償事故の件数は、27 年度 7 件、28 年度 1 件、29 年度(10 月末まで)4 件となっています。

事故の発生は、会員自身の暮らしに大きな影響を及ぼすことはもとより、対人事故や器物・財物の破損は、センター全体の信用失墜にもつながることから、会員による事故防止の基礎基本の着実な実践と自らの健康管理が肝要です。

イ 安全パトロールの実施

安全管理委員会と事務局職員が会員の就業先へ出向いての安全パトロールを定期的実施しています。また、危険と思われる作業方法等については、会員への注意喚起はもとより、当該事業所への改善要請も行っています。

会員の安全就業を確保するためには、会員の意識付けと自己管理、また、就業先事業所の安全対策への理解と行動を促す必要があります。



(2) 基本計画

- 事故の発生原因を検証し、安全対策を講じ再発防止に努めます。
- 安全管理委員会を中心に、作業現場の安全パトロールを定期的実施します。
- 草刈り作業時の飛石事故や植木剪定作業時の転落事故など、発生率の高い案件について「安全対策確認書」等において作業前の安全確認を徹底します。
- 定期健康診断の啓発、健康講習会等を実施して健康への関心を高めます。

(3) 実施計画

No.	取組名	内容
1	㊦次期「安全就業推進計画」の策定	現行「安全就業推進計画」(平成 25~29 年度の 5 ヶ年)の検証を踏まえた次期計画の策定
2	㊦(仮称)「安全だより」の発行	安全就業、就業途上・帰途の安全確保、健康管理を促し、事故発生事例等を周知するためのチラシ作成・会員への配付
3	㊦(仮称)「会員の就業休止に関する指針」の策定	会員の健康維持と安全就業を確保するための(仮称)「会員の就業休止に関する指針」の策定
4	安全パトロールの実施	安全管理委員会と事務局職員が会員の就業先へ出向いての安全パトロールの実施及び必要に応じた事業所への改善要請並びに事故防止用具の整備等
5	事故事例の関連会員への即時周知	発生した事故事例の同様又は類似する作業に従事する会員への即時周知による注意喚起及び再発防止
6	ヒヤリハット体験の振返り	神奈川県シルバー人材センター連合会が実施する「ヒヤリハット事例」募集への参加と会員への周知

5. 組織体制の強化

(1) 現状と課題

ア 会員による自主・自立の運営

センターでは、自主・自立の精神に則り、正会員で構成する4委員会と8地域班が運営に参画し、また、技能班を組織して受注体制を整えています。

より円滑で活発なセンター運営を図るためには、委員会や地域班活動に新たな視点を取り入れた活性化が重要です。また、除草や植木の剪定など、多くある発注へ迅速かつ的確に対応するためには、技能班の体制強化が必要です。

イ 事務局機能の強化

継続的な受注に加え、企業における正社員の雇用抑制等を背景に、人材派遣の依頼が増加傾向にあり、迅速かつ的確なマッチングが求められています。

発注者からのニーズに応え、センターの更なる発展を実現するためには、マッチングの加速化とともに、事務局の機能性の向上と職員体制の強化を図る必要があります。



(2) 基本計画

- ▶ 委員会活動をより活発化することにより、センターの更なる発展を図ります。
- ▶ 女性会員を役員及び委員会委員に積極的に登用し、組織の活性化を図ります。
- ▶ 需要の伸びが期待できる家事援助サービスや植木班、除草班、リサイクル班等の職種における体制強化策として、グループ化の早期実現を目指します。
- ▶ シルバー派遣事業の推進に伴い増加する事務に対応するため、事務局職員体制の整備を図ります。

(3) 実施計画

No.	取組名	内容
1	㊦事務局体制の強化	人材派遣依頼への迅速かつ的確な対応と受注拡大を図るための体制強化
2	㊦県連合会への派遣事業に係る事務の一部移管	神奈川県シルバー人材センター連合会への派遣事業に係る賃金の支払、入金確認など、事務の一部移管
3	㊦時代に即した規程制定	必要不可欠な新たな規程の制定及び時代に即した現行定款・規程等の改正
4	㊦事務処理のマニュアル化	誰でもいつでも均一な事務処理を可能とするための作業マニュアル、事務フローチャート等の作成
5	委員会活動の活性化	会員で構成する安全管理委員会、企画調整委員会、広報委員会、就業開拓委員会の4委員会の運営及び活発な活動展開
6	地域班活動の活性化	会員で構成する8地域班の運営及び活発な活動展開
7	会員データ情報の更新	希望職種、就業可能曜日等の当初登録内容の随時更新
8	(再掲)㊦技能班の体制強化	植木班、除草班、リサイクル班の構成員の増強及び各班内におけるグループ化並びに発注に迅速かつ的確に対応するための新たな技能集団の結成

6. 財政基盤の安定

(1) 現状と課題

センターは、公益社団法人として収支相償（利益追求ではなく収支均衡）を原則として運営し、財源は、国と市の補助金のほか、事務費収入、会費収入が主なものとなっています。平成 27 年度には、センターの安定運営を図るため、それまで 1,000 円であった正会員の年会費を 2,000 円に値上げしています。

持続可能な安定したセンター運営を図るためには、また、会員の日々をより豊かなシルバー生活としていくためには、安定した財政基盤の構築が不可欠です。

(2) 基本計画

- ▶ 受注量拡大が財政安定化の基盤となる為、需要開拓の活動資金として自主財源を確保する対策を検討します。
- ▶ シルバー派遣事業を積極的に推進し、派遣手数料の確保を目指します。
- ▶ 最低賃金や他市の状況及び市場を調査したうえで適正な単価を設定し、会員の不利益が生じないようにするとともに、事務費収入の確保を目指します。
- ▶ 効率的な事務処理方法の確立とともに、更なる経費節減に努め、限られた財源を有効に活用する方法を検討します。



(3) 実施計画

No.	取組名	内容
1	㊦ 寄附制度の創設	シルバー人材センターに対する寄附金等に関する規程の整備及び周知並びに寄附金の受入れ
2	自主財源の確保拡大	発注へ迅速かつ的確に応え受注拡大を図るための会員の増強及び就業開拓の推進・強化等による受注件数・契約金額の拡大並びに新たな自主事業の開発
3	事務の合理化・効率化と事務局のスリム化	限られた財源を有効活用するための事務の合理化・効率化及び経費節減並びに事務局のスリム化
4	国市補助金の確保	国庫補助制度の変更等に関する情報収集及び国市から補助金を得るにふさわしい事業の展開

7. 会員の交流・親睦活動の活性化

(1) 現状と課題

センターでは、会員と就業先とのマッチングのほか、日帰り旅行や同好会活動など、会員の親睦を図る取組を進めています。

会員の生活をより豊かにし、「センターに入会して良かった」と思っていたいただき、センターをより活性化していくためには、各会員の活発な就業とともに、会員相互の交流が大切です。

(2) 基本計画

- ▶ 会員同士のふれあいの場として、同好会活動の充実を支援します。
- ▶ 子ども見守りボランティアや清掃活動などのボランティア活動を積極的に行うとともに、ボランティア活動に参加することへの理解を会員に求め、地域社会への参画意識を高めていきます。
- ▶ 地域会員相互の連帯意識の強化等を目的にしている地域班活動の充実を支援します。



(3) 実施計画

No.	取組名	内容
1	会員を対象とする日帰り旅行等の実施	会員相互の親睦を目的とする日帰り旅行など
2	会員自主的な同好会活動の促進	卓球、麻雀、パソコン、カラオケ、ハイキング、水墨画など
3	(再掲)会報「シルバーいせはら」による PR 強化	センター活動を掲載する会報「シルバーいせはら」の年 4 回の発行（うち 1 回は全戸配付）によるセンターPR と会員の連帯意識の高揚
4	(再掲)委員会活動の活性化	会員で構成する安全管理委員会、企画調整委員会、広報委員会、就業開拓委員会の 4 委員会の運営及び活発な活動展開
5	(再掲)地域班活動の活性化	会員で構成する伊勢原地域班、大山・高部屋地域班、比々多地域班、成瀬小学校地域班、大田の会地域班、シルバーさくら地域班、石田・緑台地域班、地域班竹園の 8 地域班の運営及び活発な活動展開
6	(再掲)地域イベントへの積極的な参加とボランティア活動の推進	積極的な地域イベントへの参加やボランティア活動による地域貢献及びそれらを通じた会員の連帯強化とセンターPR

§ 主な新規事業のイメージ

その1：刃物研ぎ出前出店事業

市内にある事業所の一角に会員が刃物研ぎを行う仮設店舗を出店することで、就業機会の確保を図るとともに、シルバー人材センターの存在をアピールする一つの窓口としていきます。

また、出店することで当該事業所はもとよりその周辺事業所への誘客に結び付けるなど、地域の活性化に寄与する活動を展開します。



買物をしている間に刃物研ぎが完了!

▼ 出店先の選定条件

- ① 市内の既存事業所で、シルバー人材センター活動への理解が深いこと。
 - ・ 出店場所の無償提供
 - ・ 光熱水費の無償提供
- ② バス等の交通の便が良い、又は来訪者用の駐車場があること。

▼ 出店出張会員の心得

- a 緊急やむを得ない場合を除き、出店する事業所には迷惑をかけない。
- b 出店する事業所への誘客に結び付ける行動・言葉づかいを心がける。
- c 作業終了後の出店場所の清掃を行う。
- d 買い物カゴの整理や店舗先のゴミ収集などの環境美化へ協力する。
- e 出店事業で販売した刃物への特段の配慮を心がける。

▼ 料金例

種類	料金
文化包丁	350 円
出刃包丁	450 円
刺身包丁	500 円

※刃こぼれ、錆び取りはプラス 100 円

その2：空き家等見回り事業

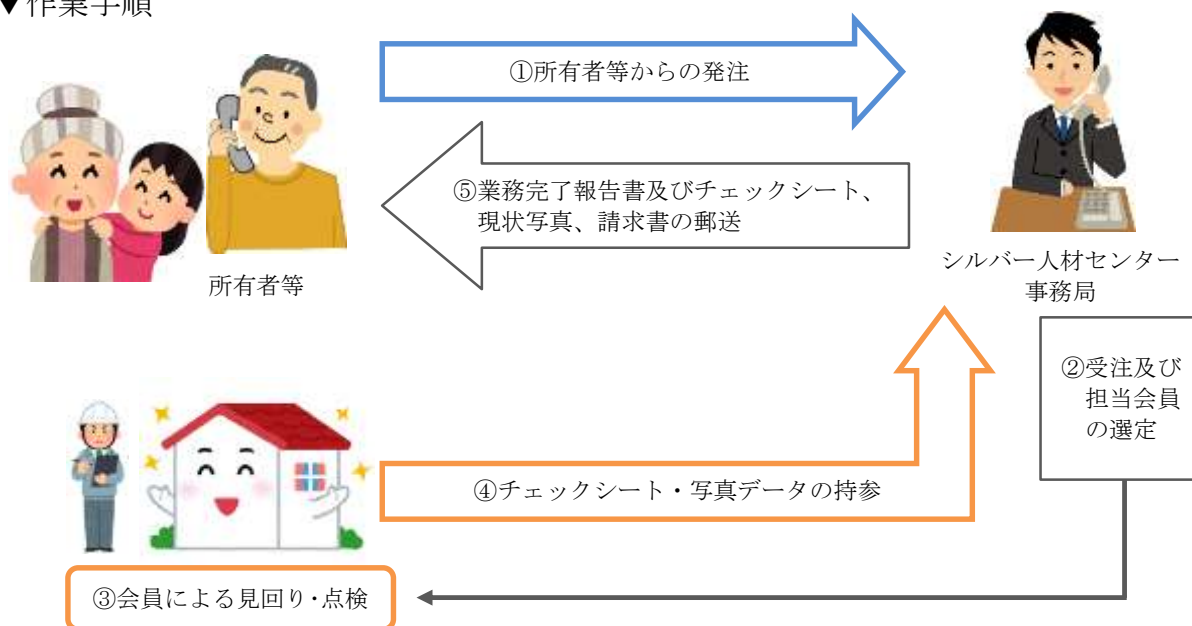
市内に所在する常時無人の状態（現に人が使用していない状態）にある建物その他の工作物及びその敷地（以下「空き家等」という。）を見回り、点検する業務を請負うことで、会員の就業機会の拡大を図るとともに、地域の生活環境の保全への寄与を目指します。

なお、発注者が見回り・点検結果を受け、庭木の剪定や除草等を希望する場合には、それらの作業について、別途請負うこととします。

▼見回り対象の空き家等

市内に所在する空き家等で、所有者又は管理する者（以下「所有者等」という。）から見回り業務の発注があったもの。

▼作業手順



▼請負代金

発注区分	請負代金
空き家等見回り 1 回	2,160 円
空き家等見回り 3 回一括発注の場合（請負期間は 1 年間）	6,000 円
空き家等見回り 6 回一括発注の場合（請負期間は 1 年間）	10,800 円

※請負代金は、交通費、写真撮影・印刷、郵送料、消費税込み

その3：(仮称)シルバー農園運営事業

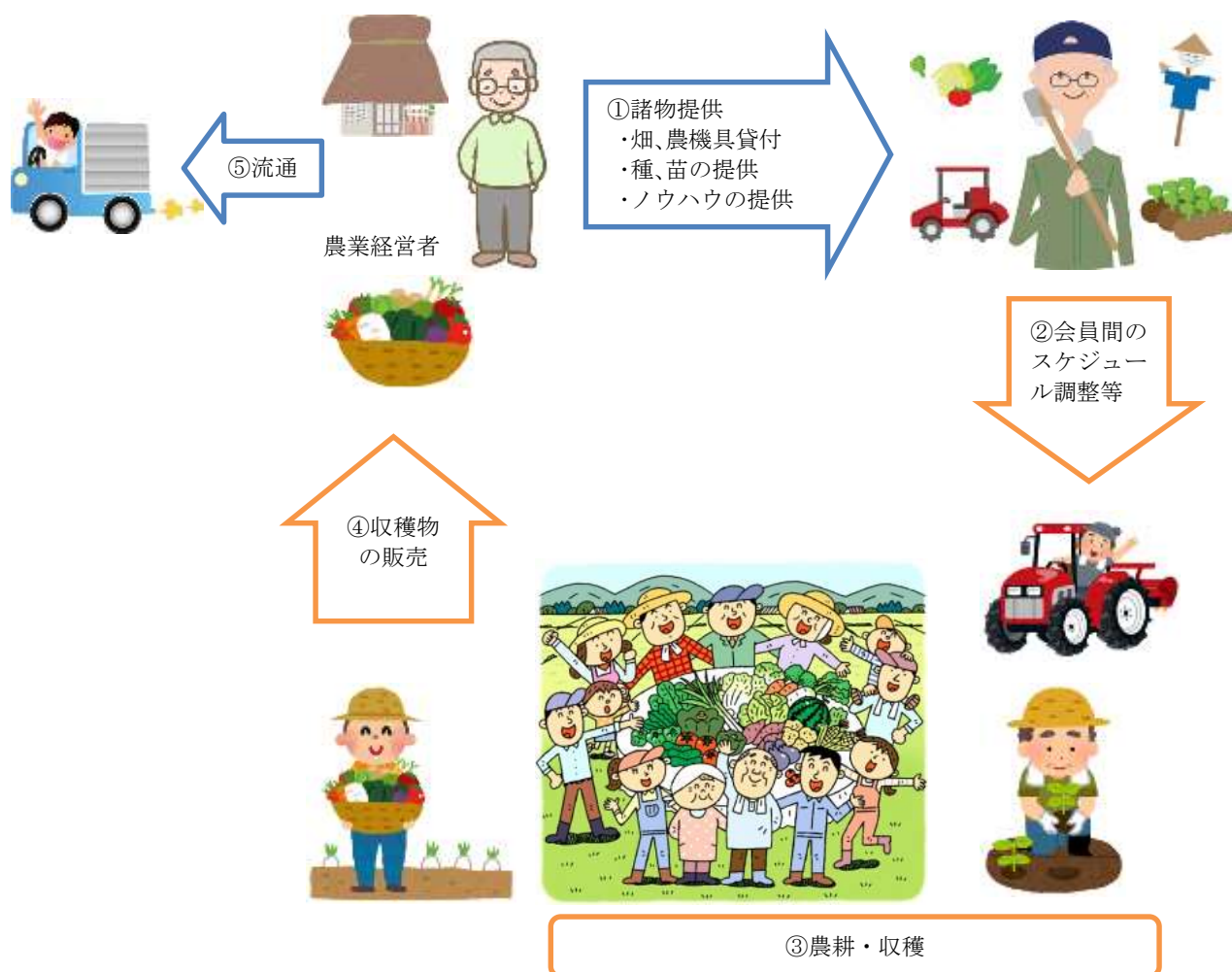
会員が、収穫物を販売することを前提とする(仮称)シルバー農園を運営することで、就業機会の確保・拡大に結び付けるとともに会員相互の交流の場とするなど、会員活動の更なる活性化を図ります。

また、遊休農地解消の一助となることへの期待と、地域の環境保全と活性化への寄与を目指します。

▼会員の就業場所
市内の遊休農地等

▼従事する会員
シルバー農園従事希望者

▼運営イメージの一例



《参考》他市区町村シルバー人材センターの独自事業例

①講座・学習

No.	取組名	内容	実施団体
1	陶芸体験教室	手びねりでの作品づくり。料金(1人1作品当たり)中学生以下700円、大人1,000円	日光市
2	パソコン教室	パソコン基本、インターネット、電子メール・ワード・エクセル・年賀状作成・デジカメ等の習得。月4回3,000円	福岡県古賀市
3	水彩画教室	水彩画、イラストのプロが会員として水彩画教室を開催。月3～4回程度2,500円	福岡県古賀市
4	書道教室	自分の住所・氏名から宛名書き・のし袋の表書き、年賀状・暑中見舞いの書き方。1回2時間・月3回3,500円。初回のみ教材費4,000円	東京都目黒区
5	シルバー学習教室	教職経験者による小4～6年生を対象とする国語、算数の基礎的・基本的な学習指導。1教科月謝3,000円(別途教材費月額100円)	東京都調布市

②技能

No.	取組名	内容	実施団体
1	リサイクル自転車販売	駅前等から撤去された放置自転車で保管期間が過ぎた処分前の自転車を市から払い下げ、修理して販売。価格4,500円～7,000円(防犯登録料込み)	神奈川県相模原市
2	リサイクルクラブ(芽ぶきの会)	女性会員が、着なくなった着物や帯を洋服やバッグ、小物に変身させ、作品展や「まつり古賀・健康福祉まつり」で販売	福岡県古賀市

③販売

No.	取組名	内容	実施団体
1	フリーマーケットでの委託販売	市内商店街の空店舗を活用し、使わなくなった衣料・日用品の委託販売	福井県福井市
2	不要品の委託販売	家庭に眠っている不要品の委託販売。参加会員は女性のみ12人(H28年度実績)	福井県福井市
3	「四季まんてん甲賀野菜」ブランド化推進事業	地元(甲賀)で生産され履歴がしっかりと記帳された野菜「甲賀野菜」(ニンニク、カボチャ等)のシンボルマークを作成しブランド化を図り、生産販売する取組	滋賀県甲賀市
4	ふれあい喫茶「椿庵」の運営	空き店舗等を活用し、会員による喫茶・食堂の運営	広島県府中町
5	シルバー人材センターまつり	[センター駐車場]陶芸品、刃物研ぎ、焼いも、からあげ、たこ焼き、焼きそば、わたあめ、手打ちそば、抹茶など [センター屋内]そば打ち体験、児童クラブ作品展、手芸品販売、会員作品展(絵画、写真、書道など)	栃木県日光市
6	カブトムシ販売	会員によるカブトムシの採集・販売	宮崎県えびの市

④製作加工

No.	取組名	内容	実施団体
1	門松製作販売	門松製作・販売。小(高さ 90 cm・直径 30 cm)7,000 円、中(高さ 120 cm・直径 40 cm)12,000 円、大(高さ 180 cm・直径 60 cm 2 段組)24,000 円	鹿児島県 伊佐市
2	まな板削り	木製まな板削り。シルバー人材センター及び二日市自転車保管所横で偶数月の第 3 火曜日(受付時間 10 時～15 時)に実施。1 枚 550 円～	福岡県 筑紫野市
3	手打ちそば販売	会員自慢の一品、打ちたて「手打ちそば」の予約販売。1 パック 400 グラム(約 2 人前)500 円	栃木県 日光市
4	食堂運営	市営保養施設での食堂運営	兵庫県 西宮市

⑤サービス

No.	取組名	内容	実施団体
1	ちょこっと手助けサービス	65 歳以上高齢者や障害者を対象に、買い物や部屋の掃除など日常生活上の手助けを行う事業。利用料金は 1 回(30 分程度)500 円。利用件数は月 50～60 件程度	埼玉県 草加市
2	あいあい傘事業	30 分以内の仕事を手 500 円で引き受ける事業。朝のゴミ出し、診察券出し、蛍光灯の取り換え、エアコンフィルターの清掃、話し相手など	埼玉県 吉川市
3	訪問介護事業	H13.7 から介護保険事業の訪問介護サービス提供事業所としてスタートし、H18.4 からは介護予防訪問介護事業・障害者自立支援法に基づく居宅介護事業。ヘルパー 2 級以上の資格を持つ会員により運営	大阪府 守口市
4	病弱者等福祉サービス	地域の介護老人保健施設と提携し、施設に入居する老人の福祉サービスの提供を H14 年度から開始。衣類の洗濯、買物、掃除、病院への付き添い等のサービスを有料で提供	大阪府 守口市
5	シルバーママサービス事業	府中町シルバーワークプラザ内の一画で、生後 6 ヶ月～未就学前児までの乳幼児の一時預かり事業(認可外保育施設)。保育士、看護師の資格を持つ会員と「保育サーポータ養成講座」を修了した会員約 10 人が交替で運営	広島県 府中町
6	お墓掃除代行サービス	墓掃除の引き受け。基本料金 1 回 3,000 円(墓石敷地の広さ、植栽、除草の程度、汚れ具合等で追加料金 1,500 円～)	神奈川県 相模原市
7	結婚相談	相談業務、お顔合わせ、イベント開催等	静岡県 浜松市
8	過疎地有償運送	交通不便地域における移送サービス。利用できる人は、自動車免許を持たない住民でシルバー人材センターに利用者登録をした者。シルバー人材センター入会金 1,000 円、利用者年会費 6,000 円/年、利用距離 3 キロ以内 300 円、3 キロ以上 600 円	鳥取県 智頭町
9	史跡観光ガイド	会員による「史跡・観光ガイドグループ」による史跡観光ガイド。ガイド料金 1 時間 1,284 円(事務費 7%含)	東京都 江東区

⑥屋外・屋内作業

No.	取組名	内容	実施団体
1	シルバー農園	農業従事者の高齢化や担い手の減少に伴う遊休農地を利用した農作物の栽培・販売等	長野県 上田地域
2	シルバー地域農業 応援事業	会員が地元で栽培収穫した野菜を販売し、地産地消を推進する。会員の農業活動を通じ地域の農業活性化に寄与	兵庫県 伊丹市
3	スズメバチの駆除	会員によるスズメバチの駆除	千葉県 佐倉市
4	剪定枝葉チップリ サイクル事業	剪定業務で発生する枝葉を再利用し、肥料を製造・販売。完熟堆肥を袋詰めし、「コンポ水口 2000」という商品名(1袋 20 リットル入り 120 円)で予約販売	佐賀県 甲賀市
5	干し柿作り事業	譲ってもらった渋柿を「宮代産干し柿」としてブランド化	埼玉県 宮代町

伊勢原市シルバー人材センター
基盤強化計画

公益社団法人伊勢原市シルバー人材センター
平成30年2月策定